



岩っ子だより

学校の教育目標 自ら学び 心豊かに たくましく生きる子

「考える子」「思いやりのある子」「たくましくきたえる子」

夢や願いをもち、新たな一歩を歩み出そう！

今年度からお世話になります。岩小学校 校長 酒井立人（さかい たつひと）です。岩小学校は、伝統や宝物（伝え合い・あいさつ・そうじ）がたくさんある学校であること、様々な場で地域や保護者の皆様が学校の教育活動にご理解、ご協力していただいていることを伺いました。ありがとうございます。7日の始業式・入学式、子どもたちのあいさつがとても元気でました。きっと期待や希望を抱いて登校したのだと思います。始業式に私からは、WBCの大谷選手のことや「～したい」というような「夢・目標・めあて」をもつことを大切にしてほしいと伝えました。2～6年生には、その日の学級活動で担任の先生の願いを聞いてワークシートを書いてもらいました。6年生は、「全校を支える柱になりたい」と書いた子もいました。新しいことにも挑戦して新しい自分をつくりたいという願いを感じます。私たちは、子どもたちの命や笑顔を守り、夢や願いを大いに応援していきます。よろしくお願いいたします。

あいさついっぱい、笑顔いっぱいの岩のまち

岩小学校の子どもたちは、元気なあいさつをする子が多いです。相手の目を見てあいさつする姿もあり、思いやりや誠実さを感じます。見守ってくださる保護者や地域の皆様が声をかけてくださるおかげだと思います。さらに、あいさつを広げていこうと、自治会連合会・青少年育成市民会議・岩っ子みまもりたいが連携して、「あいさつ名人バッジ」を作られました。



あいさつ名人バッジ



見守り隊の皆様、ありがとうございます

製作には、公民館にもご協力いただいたようです。「あいさつ名人バッジ」が励みになって、さらにすてきなあいさつが広がっていくことを願っています。

マスク着用は個人の判断に委ねます

県では4月1日から、右のようにマスク着用について個人の主体的な選択を尊重し、着用を個人の判断に委ねることになりました。新型コロナウイルスの感染を防ぐことや花粉症対策でマスクを着けたい子もいます。息苦しさやマスクの刺激が強いことでマスクを外したい子もいます。両方に配慮していきます。「なんでつけるの?」「なんでつけないの?」と言わないように話をしました。ご理解、ご協力をお願いします。

《お知らせ》今年度も学校だよりをスマート連絡帳で配信していきます。よろしくお願いいたします。

学校における対応

4月1日から
適用

- 学校教育活動においては、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねます。
- マスクの着用を希望する児童生徒、希望しない児童生徒の双方に配慮します。

岐阜県ホームページより